

安定した経営を続けるための選択が必要

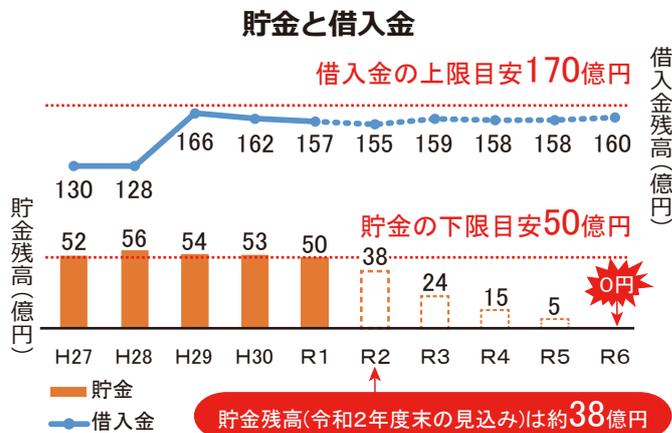
 安定した経営を続けるためには、支出を減らすか、収入を増やすかどちらかだね。

 支出を減らし、水道管や水道施設の更新事業への投資を抑制してしまったら老朽化が進んでしまうし、収入を増やすとすれば、水道料金の増額をお願いして現在の世代から負担するか、借入金(企業債)を増やして将来の世代に負担をお願いすることになるよね。

 第2次津市水道事業基本計画では、令和3年度に水道料金の28%の増額改定が必要と試算されていたんじゃないかな？

 そうなんだ。でも、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会情勢から、計画どおりの改定ができていないんだ。その影響もあって、令和3年度の予算は不足額が大きくなっているんだよ。

 令和3年度は必要な施設整備を計画どおり進めるためにたくさんの貯金を取り崩しているから、早く将来の世代のことも考えた選択をしなければいけないだね。



水道事業は、税金ではなく皆さんからいただいた水道料金を主な財源とする「独立採算制」で運営しています。

令和3年度の主な事業

老朽管の更新 約12.5億円

- 久居明神町地内配水管布設工事
- 片田新町地内配水管布設工事
- 久居二ノ町地内配水管布設工事
- 北丸之内地内配水管布設工事

老朽施設の更新 約8.8億円

- 片田浄水場計装設備等更新工事…令和2～4年度の継続
- 三雲水源地2号及び3号取水ポンプ更新工事

災害対策 約7.5億円

基幹管路および災害拠点病院や避難所につながる重要管路の更新

- 産品地内配水管布設工事
- 白山町八対野及び白山町川口地内配水管布設工事

浄水施設の耐震補強

- 久居別所浄水場耐震補強工事

大規模停電に備えた非常用発電設備の設置

- 美杉小西浄水場非常用発電設備設置工事

※金額はいずれも令和3年度の事業費(税込み)



老朽管の更新工事



市内最大の片田浄水場
(制御機器など主に電気設備の更新)



浄水場への非常用発電設備の設置

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。